



<食支援>

- 高齢者の健康 2～3
 - 1.「長寿の鍵は食にあり～食事のケア最前線～」
 - 2.「防げるか？認知症～注目される食の力～」

<認知症>

- 認知症とともに生きていく 4～5
 - 第 1 巻「アルツハイマー型認知症」
 - 第 2 巻「レビー小体型認知症」
- 認知症対策シリーズ 6～7
 - 「何をしたか、思い出せない～認知症を良く知り、早めの備えを～」
 - 「無事に帰れる街づくり～認知症の道迷い(徘徊)には理由がある～」

<アドバンス・ケア・プランニング(ACP)>

- 人生一度きりより良い医療と介護で
～2 つの事例を通して考える“想いを分かち合う人生会議”とは？～ 8
- 沖縄県作成「命しるべ～人生の最期まで寄り添う医療へ～」 9
- 厚生労働省作成「人生会議」 10

<高齢者ケアシリーズ>

- Vol.1「高齢者ケアの基本、健康長寿のための指導」 11
- Vol.2「認知症のケア、せん妄のケア」 12
- Vol.3「感染症のケア、食事・栄養のケア」 13
- Vol.4「排泄のケア、スキンケア」 14
- Vol.5「退院支援、緩和ケア」 15

<こころをつかむ介護職員研修シリーズ>

- 第 1 巻「介護職員に求められる意識と基本接遇マナー」 16
- 第 2 巻「施設内介護で求められる接遇マナー」 17
- 第 3 巻「訪問介護で求められる接遇マナー」 18

- <身体拘束・虐待防止> 19



<食支援>

●社会教育 DVD 高齢者の健康

- 1.「長寿の鍵は食にあり～食事のケア最前線～」
- 2.「防げるか？認知症～注目される食の力～」

社会教育DVD【高齢者の健康】

監修 医療法人社団 福寿会
福岡クリニック 管理栄養士
日本在宅栄養管理学会 副理事長 中村 育子

指導 早稲田大学 研究員教授 矢澤 一良 (認知症作品のみ)
日本歯科大学口腔リハビリテーション科
歯科医師 医学博士 佐々木 力丸

食から見た医療 食の秘める可能性を探る

介護従事者向け [DVD・約20分]

長寿の鍵は食にあり
～食事のケア 最前線～

介護従事者（看護士、管理栄養士、介護士）向け [DVD・約18分]

防げるか？認知症
～注目される食の力～

映学社作品

高齢期にも健康であり続けるためには、適度な運動とバランスのとれた食事が欠かせません。特に食事は、活動量が減る高齢期にも、1,500kcal/日が必要だと言われています。しかし摂食機能が低下することで食べる量が減って、栄養不足、時には低栄養になり、体力が低下して感染症にかかりやすくなり、さらなる体力の低下を招くという悪循環に陥りかねません。そこでエネルギーや栄養素を無理なく摂るために、食べやすくする調理の工夫や食事介助、口腔ケア、さらに新たに始まったミールラウンド（食事観察）などを具体的に紹介します。

また一方で近い将来65歳以上の5人に1人、約700万人とも推計されている認知症の予防にも、適度な運動と認知トレーニングとともに食の力が注目されています。近年の研究でDHAやEPAを多く含む青魚や抗酸化成分を多く含む緑黄色野菜などを積極的に取り入れ、バランスの良い食事を心がけると認知症の予防に効果があることがわかってきました。そして認知症を発症しても、1人ひとりの摂食機能に応じた調理や介助を工夫することで、その進行を遅らせることも期待できます。

高齢期にとって生活の基本である「食」の役割、調理と食事介助を、最新の知見を交えながら具体的に紹介します。

介護従事者向け

長寿の鍵は食にあり ～食事のケア最前線～

●食事観察・ミールラウンド

高齢者一人ひとりの最適な食事形態や介助のしかたを探る手法。

●高齢者に多い栄養不足

低栄養の要因、指標、また低栄養による症状とは？

●必要な栄養と献立

高齢者でも一日1,500kcalは必要。
季節を感じる旬の野菜を使った献立例。

●調理の工夫

素材ごとに切り方、調理の仕方など、具体例を提示。
注目される口腔ケアの重要性。

●食事介助のしかた

症状に合わせた食事介助。
最も大切なのは食物を喉に詰まらせないこと。

介護従事者
(看護師、管理栄養士、介護士)向け

防げるか？認知症 ～注目される食の力～

●認知症とは？

認知症の症状、原因、治療法、種類などを専門家の解説を交えて。

●認知症を予防する食事

青魚、緑黄色野菜、良質の植物油、発酵食品などを取り入れた献立例。

●認知症の進行を遅らせる食事

進行を遅らせることが期待できる食品群、調理例。

●食事の介助

認知症患者に対する食事介助の方法と専門家のワンポイントアドバイス。

●まとめ

食事療法による認知症の予防、改善が豊かな高齢期につながり、家族も幸せでいられる。

監修：医療法人社団 福寿会
福岡クリニック 管理栄養士
日本在宅栄養管理学会副理事長 中村 育子
指導：早稲田大学 研究員教授 矢澤 一良 (認知症専門の医師)
日本歯科大学口腔リハビリテーション科
歯科医師 医学博士 佐々木 力丸

協力：医療法人社団 自請会
特別養護老人ホーム ミノ輪
特別養護老人ホーム さの
葛西呂会病院
認知症予防財団 (認知症作品のみ)
最勝院

企画・制作統括 高木 裕己
脚本・演出 山田 和広
撮影 金山 芳和
中井 正義
イラスト・CG 正者 草子
ナレーター 一色 令子
コーディネーター 斎藤 寛樹

制作・著作 株式会社 映学社 / 2016年・映学社作品



〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル
TEL: 03-3359-9729 (代表) FAX: 03-3359-4024
http://www.eigakusya.co.jp/

●お問い合わせ、お買い上げは……



有限会社プラン・プロデュース
〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目3番
Tel 011-219-2311 Fax 011-219-2316

<認知症>

●認知症とともに生きていく

第1巻「アルツハイマー型認知症」

第2巻「レビー小体型認知症」

最新作



文部科学省選定

～認知症の人とその家族の暮らし、
その暮らしを支える周りの人間を観る～

シリーズ 認知症形態別事例集

認知症とともに生きていく

～認知症になっても住み慣れた地域で穏やかに暮らしていく～

第1巻

アルツハイマー型認知症 22分+解説8分
～88歳と84歳のご夫婦の生活を観る～



推薦の言葉
“認知症になっても住み慣れた町で、家で住み続けたい”
本人や家族の思いと、それを支える地域の力が一体となって
その希望を実現することができました。誰もが迎える老後を考えるのによい教材です。

社会医療法人財団 石心会 川崎幸クリニック院長 認知症の人と家族の会 神奈川県支部代表 杉山 孝博

第2巻

レビー小体型認知症 24分
～患者と家族を支え・ケアする在宅医療の力～



推薦の言葉
在宅医療では、患者本人のみならずそのご家族も含めた療養空間
に対するケアが重要です。本作品で実際の在宅医療現場をご覧頂き
在宅療養で自分らしく生きるため、またそれを支援するためのヒントを見つけて頂けたら幸いです。

医療法人社団 至高会 たかせクリニック 理事長 高瀬 義昌

<対象> 福祉系大学、短大、専門学校、高等学校、介護福祉養成施設
社会福祉事業団、看護学校、社会福祉協議会、福祉人材センター、福祉事務所
地域包括支援センター、介護実習・普及センター、各種介護施設、自治体など

	各DVD1枚	片面1層ディスク	16:9	
	MPEG2	不許可複製		

企画
制作
発売

東京シネ・ビデオ株式会社

〒164-0001 東京都中野区中野2-13-21 パールミサト103
TEL (03) 5342-5381 FAX (03) 5342-5384
<https://www.tokyocine-video.co.jp>
Mail: info@tokyocine-video.co.jp

(ご注文はFAXまたはメールにてお願い申し上げます)

第1巻

アルツハイマー型認知症Tさん
～88歳と84歳のご夫婦の生活を観る～ 22分

- プロローグ Tさんの現在の状況 / 家族構成
認知症発症から現在までの経過 / 現在受けている介護サービス
- 訪問診療 杉山先生とTさんのご家族との会話
- Tさんのアルツハイマー型認知症発症直後の様子（現在から4年前の様子）
- 夫Kさんと実妹Mさんインタビュー
・Tさんはどのような人だったか（性格・趣味等）
・Tさんの様子が変わったと思ったきっかけ（身内の目線から）・認知症発症当時の介護の苦労
- 杉山先生インタビュー
・アルツハイマー型認知症について ・認知症の自然経過について
- 小規模多機能型ひつじ雲でのTさんの暮らし
・音楽ボランティアさんからみたTさん ・職員からみたTさん、そのケア
- ひつじ雲仲介による家族会の様子
・介護の悩みを相談し合う参加者 ・参加者インタビュー 家族会のメリット
- Tさん自宅の様子
・実妹Mさんの食事の介護 ・実妹さんインタビュー 親族で支え合うケア
・夫Kさんインタビュー Tさんと今後どのように暮らしていきたいか
- 特別収録 ～杉山先生がTさんの認知症の病状経過を解説する～（図表つき）



撮影協力

社会医療法人財団 石心会
川崎幸クリニック

小規模多機能型居宅介護
ひつじ雲

第2巻

レビー小体型認知症
～患者と家族を支え・ケアする在宅医療の力～ 24分

- プロローグ Aさんの現在の状況 / 家族構成
認知症発症から現在までの経過 / 現在受けている介護サービス
- 実娘Yさんインタビュー Aさんはどのような人だったか（性格・趣味等）
- 訪問診療 高瀬先生の診断・ケア
- 高瀬先生インタビュー
・レビー小体型認知症とは ・その症状・特徴
- 実娘Yさんインタビュー
・Aさんの様子がおかしいと思ったきっかけ（自分の気づき 周りの人の気づき）
- Aさん訪問診療の映像を通して
・高瀬先生インタビュー ～Aさんの訪問診療において大切にしている事～
・実娘Aさんインタビュー ～訪問診療を頼んだきっかけ～高瀬先生のケアについて～
・高瀬先生インタビュー ～訪問診療で大切にしている事（すべての患者さんに対して）
- デイサービスでのAさんの様子
・職員からみたAさんのデイサービスでの暮らし
- Aさんの訪問診療の映像を通して
・高瀬先生インタビュー ～住み慣れた地域で暮らし続けること～在宅診療の目から
- 実娘Yさんインタビュー
・母の現在、これから



撮影協力

医療法人社団 至高会
たかせクリニック

社会福祉法人
池上長寿園

<認知症>

●認知症対策シリーズ

- 1.「何をしたか、思い出せない～認知症を良く知り、早めの備えを～」
- 2.「無事に帰れる街づくり～認知症の道迷い(徘徊)には理由がある～」

社会教育DVD

監修 医療法人 敦賀温泉病院 院長 玉井 顯
企画協力 がんばらない介護生活を考える会

認知症対策シリーズ

一般向け / 約 20 分 / 文部科学省選定

何をしたか、思い出せない ～認知症をよく知り、早めの備えを～



無事に帰れる街づくり ～認知症の道迷い(徘徊)には理由がある～

一般向け / 約 19 分 / 文部科学省選定



一般向け / 約 21 分 / 文部科学省選定

指導 堀井 照彦 講師 高島 久美子

いつでも連絡してね ～地域で認知症の家族を支える～



企画意図

日本では 2025 年に、65 歳以上の約 5 人に 1 人が認知症患者になると言われています。認知症という言葉は知られていても、多くは「どのように接したら良いかわからない」という戸惑いのイメージが先行し、正しく理解されていない現状があります。さらに、早期に診断・治療を行って病気の進行を遅くできることも、あまり周知されていません。

認知症患者が徘徊し、行方不明や亡くなるケースも後を絶ちません。このように増加する認知症患者が安全に暮らしていくためには、家族だけで見守るには限界があり、地域全体が支え手となる必要となります。その場合、“地域住民の認知症への正しい理解”や、“認知症に対する知識を元にしたノウハウ”が重要です。

そこで、この「認知症対策シリーズDVD」では、それぞれ「認知症の症状と早期発見の仕方、その予防について」「認知症患者が行う道迷い(徘徊)の理由とその対策」「地域社会がどのように認知症患者とその家族を支えていくか」という点に着目し、実例を基に、わかりやすく解説していきます。

“全国の認知症患者、その家族、そして彼らを取り巻く地域社会、全員が安心して暮らしていくためにできる工夫とは何か”を示唆していくものです。

映学社作品

一般向け/約20分
文部科学省選定

何をしたか、思い出せない ～認知症をよく知り、早めの備えを～

認知症になるとどのような症状が現れるのか、早期に発見するためには、どのような点に注意したら良いのか。—— 実際の検査の様子や、専門家の解説、患者さん家族の話を通して紹介していきます。

■認知症の主な症状(中核症状)

記憶障害、視空間障害、同時処理の障害などについて説明する。

■BPSD(チャレンジング行動)

「BPSD」は、本人の性格や環境、人間関係などの要因が絡み合って起こる。その症状(幻覚や妄想、道迷いなど)を説明する。

■認知症の種類

最も多い「アルツハイマー型認知症」を始めとする、認知症4種

類について、詳しく解説する。

■認知症の治療と予防方法

認知症の投薬治療は、進行をくい止めるに留まる。重要なのは、周りの人々が認知症について知り、悪化させないことである。

また、生活習慣(運動、食生活など)の改善が、大きな予防となる。

一般向け/約19分
文部科学省選定

無事に帰れる街づくり ～認知症の道迷い(徘徊)には理由がある～

認知機能が低下した状態では、自動車事故などの事故に遭うリスクも高まります。どうして認知症の人に、道迷いが起こるのでしょうか。その原因と道に迷った人への対応を主に紹介します。

■認知症理解の重要性

認知症患者の症状「BPSD」の一つである「徘徊」。家族はその理由を知ることによって安心し、患者の症状を的確に捉えることができる。

■道迷い(徘徊)の原因

徘徊は「準備因子」と「促進因子」が関係しており、その人なりの行動の意味や背景がある。それを理解した上で、徘徊行為を見つけた場合は叱ったりせず、優しく声掛けすることなどが大切である。

■地域の対応

敦賀市が行う「みまもりネットワーク」の様子を紹介し、その模擬訓練の一連の流れを追いつながり、ポイントを押さえていく。

家族のみならず、地域で見守る姿勢が、徘徊行為を起こした認知症患者でも安心して暮らせる街づくりに繋がるのである。

監修 医療法人 敦賀温泉病院 院長 玉井 顯

指導 福井県若狭町 もの忘れ専属看護師 高島 久美子 (『いつでも連絡してね』のみ)

企画協力 がんばらない介護生活を考える会

企画・制作統括 高木 裕己 ナレーター 一色 令子

脚本・演出 鎌田 修司 横山 剛
C G 正者 章子 / 塚本 早貴

制作・著作/株式会社 映学社

■DVD [カラー]

※字幕版も収録されています

■2018年・映学社作品



株式会社 映学社

EIGAKUSYA CO., LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんさん5ビル

TEL: 03-3359-9729 (代表) FAX: 03-3359-4024

<http://www.eigakusya.co.jp/>

●お問い合わせ、お買い上げは……

<アドバンス・ケア・プランニング(ACP)>

一般社団法人中部地区医師会 在宅ゆい丸センター制作

●人生一度きりより良い医療と介護で

～2つの事例を通して考える“想いを分かち合う人生会議”とは？～

制作した目的・ねらい

- ・施設、事業所などでDVDを活用し勉強会などを開催し、多職種のスキルアップに繋げる。
- ・施設、事業所で借用すれば、各自で視聴しやすい日時で視聴出来、研修会や勉強会に参加できない状況の中でも連携について学ぶことが出来る。
- ・身近なケースとしての症例1や症例2の講義を通し専門職として利用者、家族の想いを汲み取る視点について学び、得た情報を人生会議に繋げる。

★ワークを含む研修会仕立てになっています。ぜひ、事業所内の職員研修にご活用ください！

プログラム

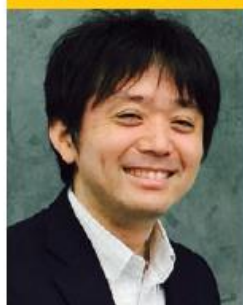
二つの事例を通してACPの在り方を考える

1. 症例1を視聴
症例1の良い点・改善点を考える
症例1の解説
2. 症例2を視聴
症例2の良い点・改善点を考える
症例2の解説
3. 最後に

人生一度きり より良い医療と介護で

2つの事例を通して考える

“想いを分かち合う人生会議”とは？



講師

金城隆展 M.A. Ph.D.
琉球大学病院 地域・国際医療部

<アドバンス・ケア・プランニング(ACP)>

●沖縄県・沖縄県医師会 作成

「命しるべ～人生の最期まで寄り添う医療へ～」

沖縄県・沖縄県医師会が、在宅医療・介護連携推進支援事業の一環で、アドバンス・ケア・プランニング普及啓発のため、テレビ放映を目的に制作された映像 DVD です。

★新人職員研修や地域住民への ACP 普及啓発の導入にご活用いただけます！

・前編(24 分)

“人生 100 年時代”の課題

延命治療をめぐる物語

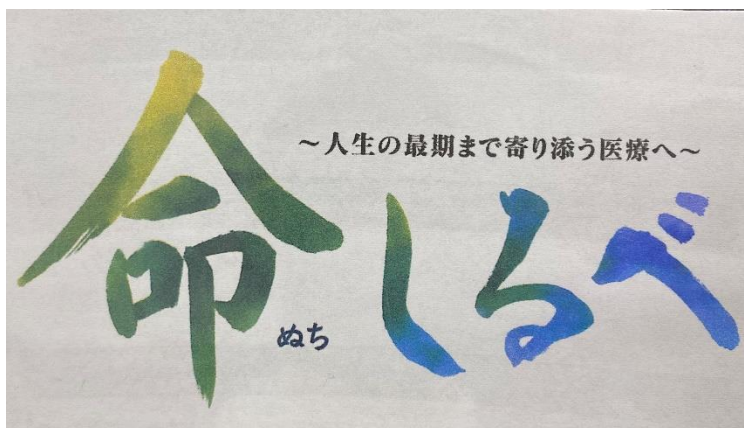
命を救う延命治療とリハビリテーション

・後編(24 分)

楽しく生きる 自分らしく生きる

延命治療を選択しないという生き方

“意思決定支援”とは



<アドバンス・ケア・プランニング(ACP)>

●厚生労働省 作成

「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)国民向け普及啓発事業」

人生会議インタビュー・座談会

「人生会議」の普及・啓発のため、タレントの生稲晃子さんや関根勤さん・麻里さん親子をはじめとした5組が出演するインタビューと、専門家の方々による座談会の動画を作成しました。

インタビュー動画では、出演者が大切にしている時間など、ご自身の価値観や生き方に関する想いを伺いました。座談会動画では、専門家の方々が、ご自身の経験を踏まえた「人生会議」についての考え方や、今後どのように普及させていくかなどを話し合っています。



[ダイジェスト版「1日の中で大切にしている時間は？」](#)



[本編インタビュー「人生会議してみませんか？」](#)



[座談会](#)

<高齢者ケアシリーズ>

Vol.1 「高齢者ケアの基本、健康長寿のための指導」

①高齢者ケアの基本 [40 分]

《主な内容》

- 高齢者を理解するために
- 高齢者総合機能評価(CGA)
- 高齢者ケアのポイント
情報収集、アセスメント、計画、ケアの実際(尊厳を守る、ADL の向上、安全・安心への配慮、退院を意識したケア)、評価
- コミュニケーションの注意点

②健康長寿のための指導 [45 分]

《主な内容》

- ハイリスク化予防
低栄養予防、虚弱予防(筋力アップ)、認知機能低下予防、熱中症予防、住環境対策
- 健康維持「生活習慣病対策・保健指導」
高血圧、心不全、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患、術後管理(股関節手術)
- 健康維持「閉じこもり予防」



<高齢者ケアシリーズ>

Vol.2 「認知症のケア、せん妄のケア」

①認知症のケア [40 分]

《主な内容》

■認知症を理解する

認知症について、中核症状、行動・心理症状(BPSD)、
認知症ともの忘れの違い

■認知症ケアの基本姿勢

コミュニケーションを良好に保つ、持てる力を
最大限に活かす、その人らしさを大切にする

■認知症患者への日々のケア

食事、排泄、入院生活での対応

②せん妄のケア [30 分]

《主な内容》

■せん妄の症状とは？

■せん妄に対するアセスメント

■せん妄に対するケア

せん妄の予防ケア

症状の緩和、不安の軽減、感覚遮断へのケア、
生活リズムの調整

せん妄発症時のケア

安全の確保と苦痛の軽減、
薬物使用時の観察と医師への報告、
患者が安心できる関わり、睡眠環境の調整、
現状への認識と興味を引き出す工夫、
家族へのケア



<高齢者ケアシリーズ>

Vol.3 「感染症のケア、食事・栄養のケア」

①感染症のケア [40 分]

《主な内容》

- 高齢者の易感染性
- 感染対策の基本(看護師)
手指衛生、個人用防護具、ケア時の感染予防ポイント、
身のまわりの感染予防ポイント
- 感染対策の基本(患者)
手洗い指導、咳がある患者への指導
- 感染対策の実際
咳がある場合、下痢・嘔吐がある場合、
皮膚掻痒感がある場合(疥癬)

②食事・栄養のケア [45 分]

《主な内容》

- 高齢者の摂食・嚥下障害
- 摂食・嚥下障害のアセスメント
情報収集のポイント、スクリーニングテスト
- 食事のケア(自分で食べられる患者の場合)
- 食事のケア(全介助が必要な患者の場合)
食事の体位、食前の口腔ケア、食事介助、
食事後の口腔ケア、義歯の取扱い
- 機能的口腔ケア
- 胃瘻栄養法
- 胃瘻のケア



<高齢者ケアシリーズ>

Vol.4 「排泄のケア、スキンケア」

①排泄のケア [40 分]

《主な内容》

■失禁に対するケア

失禁について、骨盤底筋体操

■頻尿に対するケア

■おむつ交換と洗浄

おむつの外し方と洗浄、おむつの装着方法、
おむつ・パッドの選び方、おむつを外すために

■ストーマケア

ストーマについて、ストーマケアの方法、患者・家族指導、
ストーマの合併症

②スキンケア [45 分]

《主な内容》

■スキンケアの基本

高齢者の皮膚の特徴、洗浄方法

■褥瘡ケア

褥瘡について、褥瘡ケアの実践、体位変換・ポジショニング

■フットケア

フットケアについて、足の観察、足浴、爪ケア、
創傷がある場合、白癬の治療



<高齢者ケアシリーズ>

Vol.5 「退院支援、緩和ケア」

①退院支援 [30 分]

《主な内容》

■退院支援の流れ

■退院支援の実際

情報収集、スクリーニング(総合機能評価)、アセスメント、
「在宅医療・福祉相談室」の介入、地域関係者との連携
院内連携・指導、退院前合同カンファレンス、退院、
退院後フォロー

②緩和ケア [35 分]

《主な内容》

■緩和ケアとは？

■緩和ケアの流れ

入院(チーム医療、トータルペインへの対応)、
退院へ(退院支援)、
終末期(患者への心のケア)、
終末期(家族への援助、遺族ケア)

■アドバンス・ケア・プランニング(ACP)



<こころをつかむ介護職員研修シリーズ>

第1巻「介護職員に求められる意識と基本接遇マナー」（収録時間:31分）



日経DVD こころをつかむ 介護職員研修シリーズ 第1巻

介護職員に求められる意識と基本接遇マナー

<内容紹介>

接遇マナーの必要性和意味を伝え、基本の接遇マナーを解説。ベテランの再教育や新人介護職員の研修に最適な動画コンテンツ

<おすすめポイント>

本 DVD では、ある介護施設に勤務する様々な介護職員の姿を通して、介護職員に求められる接遇マナーの基本を学んでいきます。ドラマ演出で解説するので理解しやすく、すぐに実践できる接遇マナーが身につきます。

また、人材不足を深刻化させる介護職員の退職は、労働環境による以外にも、利用者とその家族からのクレームや職場内の人間関係も大きな要因となっています。本 DVD で身につけた知識とスキルを活かすことで、職員同士や利用者とのコミュニケーションが円滑になり、クレームの減少、職員の離職防止にもつながります。

<特長>

- 動画なので、動作や声の抑揚等がすぐわかります。
- DVD プレーヤーがあれば、いつでも繰り返し研修が可能です。
- 利用者だけでなく、利用者のご家族、同僚に対しての接遇マナーも身につきます。

<目次(Chapter)>

- プロローグ
- なぜ介護職にマナーが必要なのか
- 介護職が身につけるべきマナーの基本【身だしなみ】
- 介護職が身につけるべきマナーの基本【あいさつ】
- 介護職が身につけるべきマナーの基本【態度】
- 介護職が身につけるべきマナーの基本【表情】
- 介護職が身につけるべきマナーの基本【語調】
- 介護職が身につけるべきマナーの基本【言葉づかい】
- プライバシーと個人情報の保護
- エピローグ

<こころをつかむ介護職員研修シリーズ>

第2巻「施設内介護で求められる接遇マナー」（収録時間：32分）



日経DVD こころをつか む 介護職員研修シリー ズ 第2巻

施設内介護で求められる接遇マナー

<内容紹介>

介護の基本である食事、排泄介助に加え、離職を防止するチームワークの重要性、クレームやセクハラへの対応についても解説する研修用動画コンテンツ

<おすすめポイント>

本 DVD では、ある介護施設に勤務する様々な介護職員の姿を通して、介護職員に求められる接遇マナーの基本を学んでいきます。ドラマ演出で解説するので理解しやすく、すぐに実践できる接遇マナーが身につきます。

また、人材不足を深刻化させる介護職員の退職は、労働環境による以外にも、利用者とその家族からのクレームや職場内の人間関係も大きな要因となっています。本 DVD で身につけた知識とスキルを活かすことで、職員同士や利用者とのコミュニケーションが円滑になり、クレームの減少、職員の離職防止にもつながります。

<特長>

- 動画なので、動作や声の抑揚等がすぐわかります。
- DVD プレーヤーがあれば、いつでも繰り返し研修が可能です。
- 利用者だけでなく、利用者のご家族、同僚に対しての接遇マナーも身につきます。

<目次(Chapter)>

- プロローグ
- 介護の仕事はチームケア
- 食事介助で求められるマナー
- 排泄介助で求められるマナー
- クレーム対応
- 認知症ケア
- セクハラへの対応
- エピローグ

<こころをつかむ介護職員研修シリーズ>

第3巻「訪問介護で求められる接遇マナー」（収録時間：33分）



日経DVD こころをつかむ 介護職員研修シリーズ 第3巻

訪問介護で求められる接遇マナー

<内容紹介>

介護の基本である食事、排泄介助に加え、特に注意すべきプライバシー、介護のグレーゾーン、ハラスメント対応についても解説した研修用動画コンテンツ

<おすすめポイント>

本 DVD では、ある介護施設に勤務する様々な介護職員の姿を通して、介護職員に求められる接遇マナーの基本を学んでいきます。ドラマ演出で解説するので理解しやすく、すぐに実践できる接遇マナーが身につきます。

また、人材不足を深刻化させる介護職員の退職は、労働環境による以外にも、利用者とその家族からのクレームや職場内の人間関係も大きな要因となっています。本 DVD で身につけた知識とスキルを活かすことで、職員同士や利用者とのコミュニケーションが円滑になり、クレームの減少、職員の離職防止にもつながります。

<特長>

- 動画なので、動作や声の抑揚等がすぐわかります。
- DVD プレーヤーがあれば、いつでも繰り返し研修が可能です。
- 利用者だけでなく、利用者のご家族、同僚に対しての接遇マナーも身につきます。

<目次(Chapter)>

- プロローグ
- 訪問先に到着時のマナー
- 訪問中のマナー【食事介助】
- 訪問中のマナー【掃除】
- 訪問中のマナー【排泄介助】
- 業務終了時のマナー
- 訪問介護のグレーゾーン
- プライバシーと個人情報の保護
- 利用者家族からのハラスメント
- エピローグ

<身体拘束・虐待防止>

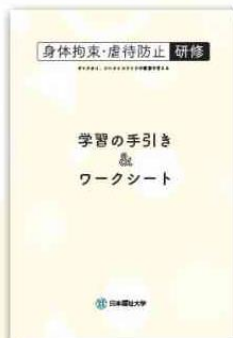
高齢者ケア・障害者支援に関わる誰もが受講を義務付けられている研修です。

身体拘束・虐待防止 研修 DVD

ワークシートもあります！



定価: 22,000 円 (税込)



研修対象 (こんな方にオススメ)

初めて高齢者や障害者のケアに関わる方々

初心者にもわかりやすく

なかなか研修の時間が持てないスタッフの方々

各15分でコンパクト

小規模で研修実施に困難を抱える事業所の方々

必要項目を厳選！

身体拘束の基本、虐待防止の基本について学びたい方々

高齢者施設・障害者施設に従事する方々 (児童領域は含まず)



日本福祉大学

監修・制作：日本福祉大学



こんな使い方ができます。

身体拘束・虐待防止 研修 DVD

(1) 1人で学習し、ワークシートを使って個人ワーク。

- 結果を管理者と共有
- 管理者は理解内容を確認・声かけのツールに

(2) 少人数のグループで学習し、ワークシートの内容を議論する。

- チームの目線(考え方)をあわせるきっかけづくり、虐待や身体拘束を話題にしやすい風土づくりに

受講者の声

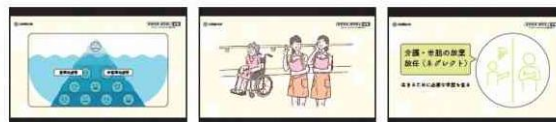
介護・障害福祉の経験年数の浅い人及び、経験年数があっても権利意識が低下している職員にとって「気づき」を与える内容です
(社会福祉法人事務局長さま)

vol.01 虐待防止編



虐待とは / 不適切なケアと虐待 / もし不適切なケアを見つけたら？

vol.02 身体拘束防止編



身体拘束のもたらす弊害(へいがい) / 例外三原則とは / 身体拘束を防ぐためのポイント